

作成年月日：2019年10月21日（Ver.1.0）

久留米大学では、法医解剖時に取得された情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 視神経の後方牽引が眼球形状に及ぼす影響に関する研究

【情報の対象者（研究対象者）】

西暦 2020 年 4 月から西暦 2022 年 3 月の間に本学で法医解剖を受けられた方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【年齢、性別、眼軸長、前房深度、眼内状況の情報】

【研究目的】

揺さぶられっ子症候群などに観察される出血性網ひだ、現在は網膜が前方に牽引されることで生じると考えられています。しかし、この損傷は眼球が後方に牽引されることで生じる可能性があり、その真偽を明らかにするものです。

法医解剖開始前と解剖時にエコーで眼軸長を計測し、その値の変化を記録します。計測によって得られた眼軸長・前房深度の変化と年齢、性別、眼内状況との比較検討を行います。

【研究（利用）期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2022 年 3 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は公的資金を得て実施する研究であり、特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部法医学講座 准教授 大島 徹

問い合わせ担当者：久留米大学医学部法医学講座

電話: 0942-31-7554

E-mail: tooshima@med.kurume-u.ac.jp